

イースターマット施工事例①（国立公園・積雪対策）

上信越国立公園内という自然性豊かな場所での工事となるため地域の生態系や生物多様性の保全に有効な緑化工法が必要であった。また積雪寒冷害が予想されるため建設技術審査証明によって高い法面保護機能を証明されたイースターマットを提案。

イースターマットは秋施工でも高い法面保護機能を発揮し、自然侵入緑化が1年目には50%以上、2年目には100%の植生回復が確認された。



補強土植生法枠工施工直後



施工完了：H25 年 10 月



H26 年 9 月 (11 か月経過)



植生完了：H28 年 6 月 (2 年 9 か月経過)

発注者：長野県北信建設事務所
現場名：山ノ内町奥志賀高原第17号カーブ改良工事
工法名：キッコウイースターマット M2 型
施工時期：H25 年 10 月